

第2回北広島市観光基本計画懇話会

と き 平成31年1月10日（木）18時30分

ところ 北広島市役所1階多目的室4

次 第

1. 開会

2. 座長挨拶

3. 議案

議案1 懇話会の公開等について

4. 議題

議題1 第1回懇話会の確認について

議題2 北広島市観光基本計画の改定について

5. その他

～観光協会の組織強化について など

6. 閉会

議題 1 第 1 回懇話会の確認について

1 北広島市観光基本計画の改定に係る素案について

(1) 改定箇所

本市において、北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク（新球場）の建設が決定し、まちづくりの計画の中で、スポーツによる地域の活性化を図る政策の展開が一層重要となっています。この大きなプロジェクトが進む中で、観光施策においても、ボールパークの活用は重要な課題であり、北広島市観光基本計画の重点プロジェクトに位置づける必要があります。

また、ボールパークは様々な施設を整備する事業であり、核となる新球場の開業は2023年に計画されていることから、現計画の計画期間（2020年）を2年間延長することにより、ボールパークの今後の展開を踏まえた次期計画づくりに対応します。

(2) 具体的な改定内容

ア 「第1章 計画策定の趣旨」の統計データを最新のものに更新します。

イ 「第1章 計画策定の趣旨 第1節 基本計画の目的と位置づけ 4 計画の期間」について見直します。

4 計画の期間

(当初)

本計画は、北広島市総合計画（第5次）と期間を同じくし、平成32年度（2020年度）までの計画期間とします。ただし、社会情勢の変化により、必要に応じて見直しを行うこととします。

(見直し)

本計画は、2022年度までの計画期間とします。ただし、社会情勢の変化により、必要に応じて見直しを行うこととします。

ウ 「第4章 重点プロジェクト」に「3 ボールパークの開業に向けた観光まちづくりの推進」を追加します。

3 ボールパーク（きたひろしま総合運動公園予定地）の開業に向けた観光まちづくりの推進

本市において、北海道のランドマークとして期待されるボールパークがきたひろしま総合運動公園予定地に整備されることにより、全国的に知名度が高まり、都市イメージの向上に結びつきます。特に新球場については、本市の新たな観光コンテンツとなり、まちの地域ブランドとしての価値の向上や観光振興の推進力として大きく寄与することが期待されることから、ボールパークの開業に向けた観光まちづくりの推進により、“にぎわいと魅力あるまち”を目指します。

- 1 ボールパークの開業に向けてのテーマ別観光コンテンツのプロモーション
- 2 近隣自治体とのボールパークを核とした連携施策の検討
※テーマ別・・・スポーツ（新球場含む）、アクティビティなど

観光協会の組織強化について

1 北広島市観光協会の現状について

(1) 設立の経緯

昭和54年、北広島市における観光事業の開発振興を積極的に推進し、地域産業の振興と観光事業の健全な発展を図ることを目的に設立。

(2) 主な事業

ア イベント開催事業

ふるさと祭り、ふれあい雪まつり、北の酒まつり、エルフィンイルミネーション

イ 観光資源、物産紹介に関する事業

きたひろしま 30km ロードレース、Meiji カップ、東広島酒まつり出店

ウ 備品等の貸出

町内会イベントへのベンチ貸出（無料）

エ 関係団体との連携に関する事業

広島観光コンベンションビューロー親善訪問団の受入れと連携PR

(3) 会員数 74（平成30年12月末現在）

（法人52 団体10 個人12）

(4) 事務局

北広島市経済部観光振興課

2 北広島市観光協会の課題

(1) 行政区域に限定した定型的な情報発信や案内、イベント開催などが事業主体となっている。

(2) 国等が行う様々な形での観光地づくりの支援の取り組みや近隣自治体との連携、市を訪れる観光客のニーズに合わせた情報提供の戦略的・継続的な事業展開が行われていない。

3 北広島市観光協会の機能強化に向けた法人化の目的

(1) 観光基本計画の具体化

- ・きたひろしま観光ブランドの確立
- ・観光動態（交流人口、消費額）の把握、マーケティング志向

(2) 自立による地域の独自性や観光客の実態に対応した事業運営

(3) 北海道・近隣自治体との地域連携

- ・観光拠点としての役割を明確化～目的地から出発地へ（ゲートウェイとしての役割）

(4) 市民及び諸団体・市観光行政との一体化

- ・新しいアイデアの創造や情報共有から生まれる新規事業による地域の活性化

(5) 会員満足度の向上